

● 令和8年度 第1回 講演・交流会 『子どもの内分泌疾患（成長ホルモン）』 ●

講 師：県立広島病院 小児科 坂田 園子先生

実施日時：令和8年7月23日（木） 14：30～16：35

会 場：ハイブリッド開催（ZOOM・広島県東広島庁舎）

対 象 者：内分泌疾患（成長ホルモン）の子どもの家族、
支援関係者、関心のある方

参 加 者：家族21名、看護師12名、養護教諭9名、幼稚園教諭・保育士9名、
保健師5名、医師・教諭・学生各1名、不明2名 （計61名）

担当：西部東保健所

●講演内容

- ① 低身長と成長ホルモン分泌不全
- ② SGA 性低身長
- ③ Turner 症候群
- ④ 思春期の異常
- ⑤ その他の低身長を来す疾患
- ⑥ 学校検診について



●アンケート結果より

＜参加された方の感想＞

「医療機関の受診を促す基準や、タイミングなど知りたかったことを教えてもらえて、とても良かったです。他の職員とも共有していきたいと思います」

「ただ身長が低いだけとかの問題ではなく、骨の成長や性ホルモンにも早い遅い関わっていることを勉強できて良かった」

「子どもの成長で大事なことは、食生活や運動、睡眠で100%両親の遺伝ではないということが分かって良かったです」

「こどもの成長は規則正しい生活が大切と話され、本当にその通りだと感じた」

「こどもが治療を始めたばかりで、治療開始の基準や検査、なぜ手のレントゲンをとるのか、よく分からなかったなので、勉強になりました」

「周りと比べて成長している子について、講師が大きければいいというわけではないと話されているのが印象的でした。成長していると問題はないと思いがちで見逃してしまいましたが、急激な成長であれば注意することが必要だと改めて気づくことができた」

●相談員より一言

今年度初の開催の講演会となりました。会場にも13名ほどご参加を頂きました。講師からは疾患や治療などに関するお話と、保育学校検診後の受診率についての説明がありました。受診率はかなり低く、特に高度肥満は受診率が低いため積極的な受診勧奨や勧奨方法の工夫などが望まれるとの事で、質疑応答の際も養護教諭や看護師の方からも質問を頂きました。

後半の現地参加者での交流会では、治療を開始するかお悩みのご家族や保育園看護師が集まれ、それぞれが質問して意見交換ができました。